最近の三重県内経済情勢

（県内経済情勢報告）

令 和 8 年 11 月 5 日

財務省東海財務局
津 財 務 事 務 所

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに回復しつつある」

項　目	前回（8 年 7 月判断）	今回（8 年 10 月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	**緩やかに回復しつつある**	⇨

（注）8 年 10 月判断は、前回 8 年 7 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、回復に向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

【各項目の判断】

項　目	前回（8 年 7 月判断）	今回（8 年 10 月判断）	前回比較
個人消費	持ち直している	**持ち直している**	⇨
生産活動	回復しつつある	**回復に向けたテンポが緩やかになっている**	⇘
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	**緩やかに改善しつつある**	⇨
設備投資	8 年度は増加見込みとなっている	**8 年度は増加見込みとなっている**	⇨
企業収益	8 年度は減益見込みとなっている	**8 年度は増益見込みとなっている**	⇗
企業の景況感	「下降」超となっている	**「上昇」超となっている**	⇗
住宅建設	前年を下回っている	**前年を上回っている**	⇗
公共事業	前年を上回っている	**前年を上回っている**	⇨
企業倒産	件数は前年を上回っている	**件数は前年を下回っている**	⇗

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費　「持ち直している」

百貨店・スーパー販売は、緩やかに持ち直しつつある。

コンビニエンスストア販売は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

ドラッグストア販売は、緩やかに回復している。

ホームセンター販売は、持ち直しつつある。

家電大型専門店販売は、回復に向けたテンポが緩やかになっている。

乗用車販売は、緩やかに持ち直しつつある。

主要観光施設の入込客は、回復のテンポが緩やかになっている。

（主なヒアリング結果）

➢　売上は前年同期を上回っているものの、物価上昇に伴う商品単価の上昇による影響が大きく、販売数量や利益面を含めて総合的にみると、景況感は概ね横ばいで推移している。　（百貨店・スーパー）

➢　長雨や局地的な豪雨によって来店客数や売上に影響がみられたほか、消費者の節約志向は日常的に購入する商品を中心に根強い一方、限定商品や地域性のある商品、催事に対する反応は良好である。　（百貨店・スーパー）

➢　販促キャンペーンによる一定の需要喚起効果はみられたものの、天候不順による来店客数の減少を補うには至らなかった。　（コンビニエンスストア）

➢　前年のWindowsサポート終了に伴うパソコン特需の反動減が大きいほか、省エネ基準改正前の夏場にみられたエアコン需要も一巡しており、足下の売上は前年並みとなっている。　（家電大型専門店）

■ 生産活動　「回復に向けたテンポが緩やかになっている」

電子部品・デバイスのうち、半導体集積回路（メモリ）は、緩やかに拡大しつつある。液晶表示装置は、弱まっている。

輸送機械は、回復に向けたテンポが緩やかになっている。

石油化学は、弱い動きとなっている。

汎用・生産用・業務用機械は、持ち直しつつある。

電気機械は、緩やかに持ち直している。

（主なヒアリング結果）

➢　AIの急速な普及やデータセンター建設の拡大を背景に、需要が大幅に増加しており、工場はフル稼働の状況が継続している。また、製品価格も大幅に上昇している。　（電子部品・デバイス）

➢　需要環境の変化を踏まえて、生産体制の見直しを進めている。一部拠点では生産規模の縮小や人員の適正化を進めており、稼働率も低水準で推移している。　（電子部品・デバイス）

➢　熊本地震の影響による部品供給不足を受けて一時的に稼働率が大きく低下した。足下では部品供給状況が改善しており、生産は徐々に地震前の水準へ回復しつつあるものの、依然として完全回復には至っていない。　（輸送機械）

➢　引き続き海外を中心に、航空機関連の工作機械受注が好調となっている。当面は海外需要が牽引役となり、高水準の受注が続くものとみられる。　（汎用・生産用・業務用機械）

■ 雇用情勢 「緩やかに改善しつつある」

緩やかに改善しつつある中、企業の人手不足感は続いている。

（主なヒアリング結果）

- 新卒採用、特に高卒者の採用は厳しい状況が続いている。こうした中、外国人材の受入れを進めるとともに、工場見学会の開催や会社イベントへの招待などを通じて地元高校との接点を増やすなど、人材確保に取り組んでいる。（製造業）

- 人手不足が続く中、中途採用や外国人材の受入れにより人材確保に取り組んでいる。また、賃上げを継続するとともに、セルフレジや電子棚札の導入、AI 活用の検討など、省人化・生産性向上に向けた取組を進めている。（非製造業）

- 近年、最低賃金の引上げ幅が大きくなっていることから、最低賃金に近い水準で募集する求人が増えているものの、現時点では最低賃金の引上げに伴う大きな影響はみられていない。（公的機関）

■ 設備投資 「8 年度は増加見込みとなっている」（全産業）「法人企業景気予測調査」8 年 7-9 月期

○ 製造業、非製造業ともに増加見込みとなっている。

（主なヒアリング結果）

- 新規案件のための設備を導入していくほか、生産効率向上のための DX 化を進めていく。（非鉄金属）

- 基幹システムの更改のほか、ペーパーレス化などの DX 化を推進していることでソフトウェア投資額が増加している。（金融・保険）

■ 企業収益 「8 年度は増益見込みとなっている」（全産業）「法人企業景気予測調査」8 年 7-9 月期

○ 製造業、非製造業ともに増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『上昇』超となっている」（全産業）「法人企業景気予測調査」8 年 7-9 月期

○ 企業の景況判断 BSI は、「上昇」超となっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

○ 新設住宅着工戸数の利用関係別（3 か月累計）でみると、持家、貸家、分譲がそれぞれ前年を上回っていることから、全体でも前年を上回っている。

■ 公共事業 「前年を上回っている」

○ 前払金保証請負金額（後方 6 か月累計）でみると、国、市町が前年を下回っているものの、県、独立行政法人等が前年を上回っていることから、全体でも前年を上回っている。

■ 企業倒産 「件数は前年を下回っている」

１．本調査結果に関する問い合わせは下記へお願いします。

財務省東海財務局　津財務事務所　財務課

℡(059)225-7222（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）

２．県内経済情勢報告は下記ホームページでもご覧頂けます。

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ＝https://lfb.mof.go.jp/tokai/tu.htm